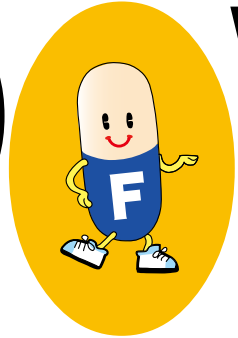


# POWER!



2018年 9月 vol.59

平成30年(2018年) 9月20日発行

発行所 ● 日本薬剤師連盟  
〒160-0004  
東京都新宿区四谷4-3  
四谷トーセイビル2階  
TEL (03) 3225-3100  
FAX (03) 3225-3200

発行月 ● 隔月(奇数月)発行

<http://www.yakuren.jp>

## 本田あきこ副会長、 全国訪問の旅

第九弾



### 東海ブロック及び岩手県において 支部訪問活動を展開!

本田あきこ副会長の全国支部訪問の活動は、6月末から三重県(6月25日～28日)、静岡県(7月3日～6日)、愛知県(7月10日～14日)、岐阜県(7月17日～19日)、岩手県(7月23日～25日)において展開した。

三重県では、前日松坂市で開催された定時総会後の会員交流会に参加し、来賓としてお見えになられた田村憲久衆議院議員に挨拶ができた。

静岡県では、3日目の夜、病院薬剤師会の研修会において挨拶の機会が得られた。

愛知県では、卸業者の物流センターを訪問し、東日本大震災の経験を踏まえ、県と防災協定を結び、行政の許可を得れば自衛隊のヘリが離着陸できるヘリポート等を見学した。

岐阜県では、豪雨災害の爪痕が残る中で活動となり、40・7度と日本で一番暑かった多治見市で訪問活動を展開した。

岩手県では、4日目の予定が急遽半日の活動に変更され、総理との対談のために帰京するというハプニングが起こった。

4月20日(金)、高校卒業後、初めて親元を離れ予備校の寮生活を送った北九州市で開催された「本田あきこを囲む女性の会」に参加した。多数の出席者はそれぞれオンラインを身に着けて参加され、大いに盛り上がった会となった。



5月20日(日)、愛媛県松山市で、「平成30年度女性薬剤師の集い四国ブロック in えひめ」が開催され、講師として参加した。



また、4日間の予定で活動を計画していた滋賀県訪問が、都合により2日間となったため、8月30・31日に再度滋賀県を訪問した。

「熊本地震と薬剤師」と題して講演を行った。

6月30日(土)、福岡県Apt's連絡会議」にスカイプにより参加し、意見交換を行った。



7月1日(日)、熊本県薬剤師連盟女性部会のイベントに参加した。「医療を支えるくももの女性薬剤師がキレイになろう!」をキャッチフレーズに、プロの美容師を呼び、キレイで簡単な髪のおまめ方を



7月7日(土)、大阪市内で開催された「大阪府薬女性フォーラム(OPL)」

に参加し、多数の参加者と交流ができた。

7月28日(土)、台風12号の動きが心配される中、福岡県宗像市で開催された「福岡県若手・女性薬剤師指導者フォーラム」に参加し、「これからの医療と薬剤師」と題して講演を行った。



### 薬学生に向けての講義を 経験!

7月14日(土)、愛知県の支部訪問活動の最終日、名城大学薬学部において2～3年生の薬学生350名の前で、特別講義の講師を務めた。



### 次期参議院議員選挙の 自民党公認候補予定者が決定!

7月20日(金)に開催された自由民主党選挙対策本部会議において、第25回参議院議員選挙の第一次公認候補予定者が決定され、本田あきこ副会長が無事選出された。今まで以上のご支援をお願いする。

**参議院選挙のしくみ**

有権者は「選挙区」と「比例代表」それぞれに投票する必要があります。一人が「二票」投票することになります。

「名前」を書きましょう!

選挙区  
一人「2票」

比例代表

## 風力計



日本薬剤師会 副会長 田尻 泰典

「薬機法の見直し」に関連して「承知のように、厚生労働省の医薬品医療機器制度部会で薬機法の見直しに向けて議論が進んでいます。」

2013年に薬事法等の改正(2014年11月施行)と薬事法及び薬剤師法の改正(2014年6月施行)が行われ、薬事法等の改正では名称が「医薬品・医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(略称:医薬品医療機器等法、または薬機法)に変更されました。これは、施行後5年をメドに検討して必要な措置を講じることになっています。

2018年4月から行われた制度部会では

- ①革新的な医薬品・医療機器などへの迅速なアクセス確保・安全対策の充実
- ②医薬品・医療機器などの適切な製造・流通販売を確保する仕組みの充実
- ③薬局・薬剤師のあり方・医薬品の安全な入手

の3つの論点で検討されてきました。薬機法見直しに向け、自由民主党「薬事に関する小委員会」においても検討されています。なぜか自由民主党?と思われる方もいらっしゃるかと...

我々薬剤師は薬機法、薬剤師法、健康保険法等々法制度の元で薬剤師職能を発揮しているのです。法律は「国会」が定めるものです。

その「国会」は、衆議院及び参議院の両議院でこれを構成し、両議院は「全国民を代表する選挙された議員(衆議院議員及び参議院議員)でこれを組織する」とあります。やはり我々の職能に関する主張を法律に反映させるには国会議員さんたちの理解を得ることが必要なのです。そのためには我々のことを一番理解している我々の代表が一人でも多く国会で活躍することが重要となります。最後の最後まで頑張りましょう!

# ファーマくんがゆく

## 熊本県薬剤師会 神田晴生会長をお訪ねしました

今回は熊本県薬剤師会の神田晴生会長にお聞きします。

**ファーマくん**：以下、**ファーマ** こん

にはファーマです。熊本県薬剤師会会長就任おめでとうございます。まず、歴代の会長が今まで築き上げてきた熊本県薬を、これからどのような事項に重点をおいて更に前進させていくのか抱負をお聞かせください。

**神田会長** 重点を置いているのは、熊本県薬剤師会の組織強化と活性化です。これはすべて支部活動が中心であることは言うまでもありません。支部が主催する事業への協力、講師派遣、県薬主催の

休みもなく、毎日夜遅くまで仕事をしていたので、薬剤師は敬遠されたのかもかもしれません。

現在は二人とも結婚して、孫は、どちらも女の子が一人ずついます。娘にはもうすぐ二人目が産まれる予定です。娘の家族は我が家から徒歩2〜3分のところに住んでいて、夕食はほとんど我が家で一緒に食べています。私は帰宅時間が遅いのであまり会えませんが、たまに会ったときに孫の成長ぶりを見るのが楽しみです。

**ファーマ** 息子は現在、家族で海外赴任しています。今はIT時代なので、東京に住んでいた頃とあまり変わらぬように声や画像でやり取りをしています。先日、息子夫婦には海外で国政選挙に投票できるように手続をしてもらったそうです。

**神田会長** 娘と息子が一人ずついます。妻は薬剤師ですが、子供たちは薬剤師ではありません。子供たちが小さい頃はOTC中心の薬局をやっている、ほとんど

今もやっています。幼い頃から薬剤師の祖母を見ていたことにルーツがあるように思います。余談ですが、昔の薬局は、朝お店に入ったら、独特の匂いがしたものです。化粧品や芳香剤の混じった匂いかもしれません。私の母が、生前に私の薬局に来た際、祖母の薬局と同じ匂いがあると云ったときには感慨深いものがありました。

**ファーマ** これまでの主な経歴を教えてください。

**神田会長** 第一薬科大学をやったことで卒業し、広島大学薬学部で教員をしていた兄の紹介で東京本郷の高島堂という漢方専門薬局に勉強に行かせてもらいました。高島堂薬局は江戸時代から続く有名な漢方薬局で、お客さんには著名人も多かったです。最近知ったことですが、高島堂薬局の専務と山本信夫会長は大学の同級生で、私が勤めていた頃にも何度か来局されていたそうで、世間は狭いと驚きました。

**ファーマ** いつ熊本に移られたのですか。

**神田会長** 結婚後、妻の両親が経営していた薬局を急遽継ぐことになって、昭和58年に熊本に来ました。いわゆる、マスオさんです。17年間OTC中心の薬局をやりましたが、現在は調剤が中心になっています。

**ファーマ** これまでの仕事の中で記憶に残ることなどを教えてください。

**神田会長** 特に印象に残っているのが、東日本大震災で南三陸町に行った時の経験です。医療チームと一緒に活動をして、患者、ドクター、看護師など多くの人から頼りにされている実感があって、大変でしたがとても充実していました。災害時だけでなく、日頃からこのような充実感を得られる仕事をしなければいけないと思いました。

この南三陸町での経験は、熊本地震での活動にも大いに役立ちました。

**ファーマ** 次に、神田会長は熊本県薬剤師連盟の会長でもありますので、県薬連盟会長としての政治活動への関わりや、今回、地元の本田あきこ氏が日本薬剤師連盟組織内候補者になったこと、県薬連盟が最も活動に重点を置いていること、目標としていることを教えてください。

**神田会長** このタイミングでの連盟会長就任に、大きな責任を感じています。今すべきことは、すべての会員薬剤師が一丸となって本田あきこ氏の政治活動を支援することだと思います。現在、熊本県では、役員が全薬局を一軒一軒訪問して、薬剤師会の目的や要望事項を実現するために政治力が必要であることをお話しして、後援会への支援を呼び掛けている。また、若手の役員を中心に様々なイベントを企画し、支援の輪を広げているところです。地元からしっかりと応援をして本田あきこ氏の名前とその活動を全国に広めたいと思います。

**ファーマ** 最後に、座右の銘を教えてくださいませんか。

**神田会長** 残念ながら、特に思いつきません。いつも心掛けていることは、「本筋を外さないこと」と「精一杯やること」です。

**ファーマ** 本日は貴重な時間をさいていただき、ありがとうございました。これから薬剤師のために活躍いただくことを期待しております。



## もとゆき Report 藤井もとゆき 国会レポート

薬剤師・薬学博士  
自由民主党組織運動本部本部長代理・参議院議員  
藤井もとゆき



### 医療の適正化・効率化

我が国は急速に少子高齢化が進み、総人口の減少と老年人口の増加という厳しい現実が目前に迫っています。「日本の将来推計人口(平成29年度推計)」によれば、日本の総人口は、平成27年国勢調査による1億2,709万人から、2053年には1億人を割り、2065年には8,808万人に減少すると推計しています。また、65歳以上の老年人口割合は、平成27年の26.6%から2065年には38.4%まで上昇するとしています。

平成25年度に初めて40兆円を超えた国民医療費は、平成27年度には42兆3,644億円となり、高齢化社会の進展と医療の高度化に伴い、今後とも増加していくものと思われます。

政府は今年の診療報酬改定において、前回改定と同様に薬価の通常引き下げや薬価制度の抜本改革などにより、医療費の伸びを押さえようとしています。医薬品産業界に負担を求めていくことには自ずと限界があり、決して根本的な解決に結びつくものではありません。

国民が安心して暮らせる皆保険制度を維持・継続していくためには、医療の無駄を省き、その適正化を図るとともに、業務の効率化による生産性向上を図っていくことが不可避となっています。

医薬品の使用に関しては、かかりつけ薬剤師・薬局による、重複投薬の防止や残薬の解消等、医薬品の安全対策の確保と適正な使用推進への取組を一層進めていかなければなりません。また、ITやAI等の最新技術を活用し、機械に委ねられる部分は機械に任せ、薬剤師に本来求められている、対人業務や在宅業務に重きを置いていくことも大事なことと思います。勿論、効率化を求めるあまりに、医療の質を低下させるようなことは、決してあってはならないと思います。

ところで、自民党は7月20日に来年夏の参議院議員選挙の第1次公認候補を公表しました。日本薬剤師連盟の組織内統一候補の本田あきこ先生も比例代表候補の一人に指名されました。いよいよ本格的な戦いのスタート、本田先生のご健闘をお祈りしたいと思います。

### 編集後記

#### お前らわかつてるのか!

万歳!! 来年の参議院議員選挙の比例代表選出議員、第一次公認候補者19名(現職15名、新人4名)が決定。新人4名の1人として「本田あきこ」が選出された。

和歌山出身の幹事長として、岩本研君もほっと一息。しかし、他2名に理学療法士、臨床検査技師が選出されている。薬剤師30万人、OT・PT21万人、臨床検査技師17万人。

「何なんか? スッキリせんぞ!」

ポイント、ネット販売、敷地内薬局、薬機法改正、オンライン、アマゾン…

他の医療団体でこれだけ過去から未来まで問題をかかえっぱなしの団体はない。

「わかつてるのか!」「飯を食いたい奴は数を出せ!」

(H・O)

#### 広報委員

安東 哲也、石井 甲一、小野 春夫、鳥海 良寛  
大澤 泰輔、大原 整、近藤直緒美、渡邊美知子